

2010年頃、豊友会事務所すぐそばの東京学芸大学附属竹早小学校を卒業した豊友会本部理事が同窓会で学校を訪れた際、学校がペットボトルキャップを集めて「世界の子どものためのワクチンづくり」に寄付しているとの話を聞きました。

この話をきっかけに、豊友会事務所を訪れる会員からキャップを集め、定期的に竹早小学校へ届けるようになりました。

学校が集めたキャップを回収業者がリサイクル資源として売り、その売却益がワクチンづくりに役立てられています。詳しくは NPO 法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」のホームページを参照ください。

なおホームページには、回収を受け付けているスーパーマーケット・薬局なども紹介されています。

<https://www.jcv-jp.org/donation/pbcap-spot>